

ROTARY INTERNATIONAL

Rotary Club of Matsue 松江ロータリー・クラブ

2025-26年度国際ロータリーのメッセージ
よいことのために手を取りあおう

MATSUE WEEKLY 週報

No. 3480

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3480回例会(令和7年12月17日・水)

今週のプログラム

12月17日(水) 会員スピーチ

「例会兼家族忘年会」

例会: 18時30分～
忘年会: 例会終了後～20時50分

次週のプログラム

1月7日(水) 会員スピーチ

「歳男・歳女会員の年頭所感」

2025年12月～2026年1月の予定

- 12月17日(水) 家族忘年会 18:30～20:50
(ホテル一畠 2F 平安)
※昼の例会なし
- ※ 12月24日(水) 休会
- ※ 12月31日(水) 休会
- 2026年
 - 1月7日(水) 新年初例会
定例理事会
 - ※ 1月14日(水) 休会
 - 1月22日(木) 松江4クラブ合同例会
ホスト: 松江東RC
会場: ホテル一畠 平安
例会: 18:30～19:20 (予定)
懇親会: 例会終了後～20:50 (予定)
 - ※ 1月28日(水) バイキング形式の食事

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
12月18日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル米子
12月18日(木)	松江東	ホテル一畠
12月22日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
12月24日(水)	米子東	ANAクラウンプラザホテル米子
12月25日(木)	松江東	ホテル一畠
12月29日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
12月30日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畠
1月5日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
1月6日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畠
1月8日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル米子
1月8日(木)	平田	ホテルほり江
1月15日(木)	松江東	ホテル一畠
1月20日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畠
1月22日(木)	松江東	ホテル一畠
1月26日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
1月27日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畠
1月29日(木)	平田	ホテルほり江

第3479回例会記録

令和7年12月10日(水・晴れ)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%) (出席免除会員含む)	前々回補正(%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	58	43 (リアル41 ₂)	15	79.63	83.02

メキヤップ: ジェームス(松江南)、川本修、山田(松江しんじ湖)、河原、山崎(理事会)

会 務 報 告

後藤 勇会長

- 本日は会員スピーチ
(株)日本政策投資銀行
松江事務所長 星 憲太郎会員
- 衛星クラブ3名出席
- 衛星クラブの新会員紹介
お名前: 片岡 諒様
事業所: 島根大学医学部附属病院
脳神経内科 医科医員
合同会社 薬雲 代表社員
職業分類: 内科医
推薦者: 内藤葉子議長、小林祥泰会員

小林祥泰会員より紹介
片岡 諒様よりご挨拶



バッジと名札お渡し

- 錦織伸行会員より会葬御礼ご挨拶

【年次総会】

今回の年次総会では、2点お諮りしたいことがございます。
まず、1点目、7月9日開催の歴代会長会において、

2007-08年度より導入されたCLP（クラブリーダーシッププラン）では、副会長は2名体制となりましたが、1名に戻す方が望ましいとのご提案を頂き、12月3日の理事会において審議した結果、2026-27年度より副会長を1名とすることに決定致しましたので、この場で、お諮りいただきたいと思います。

異議なければ拍手をもって承認をお願い致します。
承認

もう1点、ロータリークラブ定款第7条第2節により、12月31日までに年次総会において役員の選出を行うことになっております。

次年度理事・役員は

理 事（会長：クラブ戦略（行動計画推進））

理 事（次期会長：創立75周年準備委員会）

理 事（副会長）

理 事（直前会長：財団）

理 事（衛星クラブ）

理 事（直前幹事：会員維持・増強）

理 事（公共イメージ）

理 事（職業奉仕）

理 事（社会奉仕）

理 事（国際奉仕）

理 事（青少年奉仕）

理 事（会計）

理 事（幹事）

役 員（副幹事）

役 員（会場監督）

※第3グループ次年度ガバナー補佐は、松江南クラブ
田中正彦会員です。

※地区米山記念奨学会委員会 委員は
木村 俊一郎会員です。

それでは、拍手をもって承認をお願い致します。

拍手をもって承認。

たにぐち
谷口 正人会員
まさと
山崎 徹会員
とる
木村俊一郎会員
きむらしゅんいちろう
こうじゅんいちろう
後藤 勇会員
こうとう
ひさし
佐藤 尚士会員
さとう
ともつか
友塙 順子会員
ともづか
かとう
順子会員
じゅんこ
加藤 令会員
こうとう
まさひさ
昌久会員
まさひさ
山根 瞳会員
やまね
あつし
山根 瞳会員
やまね
ひろき
大谷 浩会員
おおたに
たなかゆういちろう
田中裕一郎会員
なかむら
ひさお
中村 寿夫会員
なかむら
ゆうぶ
勝合 有史会員
かつたに
ゆうじ
勝合 有史会員
しらね
ゆうじ
白根 澄男会員
しらね
すみお
大谷 聰介会員
おおたに
そうすけ
大谷 聰介会員
おおたに
そうすけ

友塙順子幹事

● 本日IMのご案内を配付しました。

年度初めにお知らせの通り、ガバナー補佐輩出クラブですので、全員登録となります。

できるだけ多く会員の参加をお願い致します。

● 次週12月17日（水）は夜間例会に変更し、18時30分から平安で開催致します。

年内の例会はこれで最後となります。

12月24日（水）、12月31日（水）は休会です。

● 来年は1月7日（水）が新年 初例会となります。通常例会で開催致しますのでよろしくお願い致します。

- めつぎしんじ
自次真司会員から、小泉八雲とセツのリアル相関図を頂きました。
テレビのおともにぜひご覧ください。
- この半年間、大変お世話になりました。
残り半年、どうぞよろしくお願い致します。

委 員 会 報 告

● 出席親睦委員会

佐藤亮治会員

出席報告

● 公共イメージ委員会

杉原 有委員長

ロータリーの友12月号の紹介

プ ロ グ ラ ム

「東北の祭り」

（株）日本政策投資銀行 松江事務所長 星 憲太郎氏



ニ コ ニ コ 箱

24,000 円

後藤、景山、山崎、谷口正、木村、友塙、森岡（星憲太郎会員のスピーチに）

星（スピーチの機会を頂きありがとうございました。）

後藤（片岡諒様を衛星クラブの新会員にお迎えして。）

小林（片岡諒君の衛星クラブへの入会を祝して。）

加藤（今週月曜に久しぶりに大橋館に泊りましたが、部屋も新しくてびっくりしました。若旦那ありがとうございます。）

加藤（今週火曜に久しぶりに田園調布で食事してきました。駅がすっかり変わっていましたが、駅舎は保存されており、懐かしかったです。東京へ行かれたらみてみてください。）

桑原（宍道湖の水草対策のため、加藤会員が理事を務められるホシザキグリーン財団から。宍道湖漁協が水草刈取り船を寄贈頂きました。来年からは寄贈頂いた刈取り船も活用して、宍道湖の水草対策に取組んでまいります。ご寄贈いただきありがとうございます。）

錦織（松江市議会本会議中のため中途で失礼します。）

森岡、和田（結婚月）

勝部（入会月）

ベストメッセージ賞：桑原正樹会員

司会 大谷聰介副会場監督



弓道をはじめて



星 憲太郎

7~8年ほど前に弓道を始めました。

かつては、転勤の都度、家族も帯同してくれていましたが、子供が小学校に入ると、やはり有無を言わさず単身赴任になりました。その時気づいたのですが、昔は「趣味は?」と聞かれれば「音楽鑑賞(テクノ等EDM)」と答えていたものの、子供が出来て自分の趣味に時間(とお金)を割くことが許されなくなり、次第に情報収集もおろそかになっていった結果、一人の時間を有意義に過ごせるものがこれといって無くなってしまっていました。

そこで、老後も含めた先々を考えると、何か新しく始めるならまさに今かな、と考えていたある日、和服を着て弓を携えたご老人と、道着を着て同様に弓を抱えた学生の集団が歩いているのをふと目にし、これなら年をとっても続けられるかも、そして普段接する機会の無い幅広い世代と接点ができるかも、と感じ、弓道をやってみようと思うに至りました。

まずは、近くの弓道場の初心者講習会に参加しました。弓や矢などの道具は基本的に借りられますので、準備は運動できる格好=ジャージと靴下だけでOK。同じタイミングで講習会に入った同期は、定年を迎えた方や子育てが一段落した方がほとんどで、当時私は相対的に若い部類でした。そして数か月の講習期間が終わると、弓道連盟に所属して本格的に教わるようになります。

やっていてよかったのは、やはり単身赴任でも暇を持て余さないことです。また伝統文化に多少

なりとも関わることが出来ているというのも嬉しいですし、少しづつ道具を買い揃えていくのも、またその道具を手入れしているだけの時間も楽しいです。

気を付けなければならないのは、放った矢は時速200km前後で飛翔するので、とにかく安全第一だということです。暴発等の事故を防ぐためにも、所作や手順、道場内での決まり事を遵守すること、周囲への目配りが欠かせません(「集中力がつくのでは」とたまに言われますが、没頭して周りが見えていない状態は寧ろ危険・・・)。また「やっています」と言う以上、ある程度稽古量を確保し続けなければとも思っています。

道具もピンキリで、竹弓や竹矢なども、伝統的工芸品のようなものになると、ウン十万元という値段です。勿論、道具として買って使う人達がいるからこそ、作り手側も産業として持続可能なので、経験度合いに併せそれなりのモノを、ということではありますが(実際見ていると欲しくなってくる)、我が家はまだしばらく子供の養育費がかかるので、今は自重しています。ちなみに、矢羽根は、動きが激しく速い猛禽類のものが丈夫で珍重されていましたが、今イヌワシ等の羽根はワシントン条約で売買や譲渡が禁止されています・・・。

道場では、80歳くらいでも普通に弓を引いている方がいらっしゃいます。私も、怪我無く細々とでも続けて良ければいいなと思っています。

(政策投資銀行)

松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ12月単独例会

令和7年12月9日(火)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%)
衛星クラブ	10	6	4	50.00

■出席者:7名

内藤議長、青木副議長、桑原リーダー、川井会員、木幡会員、仙田会員、景山直觀会員(松江ロータリークラブ)

■12月例会報告

写真は、松江市の名産「黒田芹」を使った料理4品入りのお弁当です。

2025年12月9日の衛星クラブ12月例会では、谷氏が育てておられる黒田芹の畑を見学させていただきました。芹農家さんからお話を伺いながら、収穫、選別、出荷までの一連の作業の様子を見せていただき、大変貴重な学びとなりました。

現在、松江市内で黒田芹を栽培されている農家さんはわずか5軒。そのうちお二人は90歳を超えておられるそうです。

黒田芹は、江戸時代から伝わる島根県松江市の郷土野菜で、5代松江藩主・松平宣維公が自生していた野生のせりの品種改良を奨励したことによって、本格的な栽培が始まったとされています。

厳寒期の水田で、素手素足による収穫作業は非常に過酷で、江戸時代には「命を縮める」とまで言われていたそうです。

一年を通して手間をかけ、12月から3月の最盛期には腰や胸まで水に浸かりながら、今日まで伝統の味を守り続けておられることに、改めて深い敬意を抱きました。



新入会員紹介



氏名 片岡 誠
入会日 2025年12月10日
推薦者 内藤葉子議長、小林祥泰会員
在籍していたロータリークラブ名 なし